自己評価報告書

令和６年度　豊海幼稚園　自己評価報告書

学校（園）名：中央区立豊海幼稚園　　所在地：中央区豊海町 3-1

校（園）長名：山口　晃司

園児数　１３７名　　学級数６学級　　教職員数１８名

１　重点目標の達成状況及び取組状況

１　重点目標の達成状況及び取組状況

｛ A：十分達成している　　B：達成している　　C：改善を要する
　 D 早急に改善を要する　　E：わからない ｝

重点目標１　**〇身近な自然との関わりを通して、幼児の知的好奇心を育む**

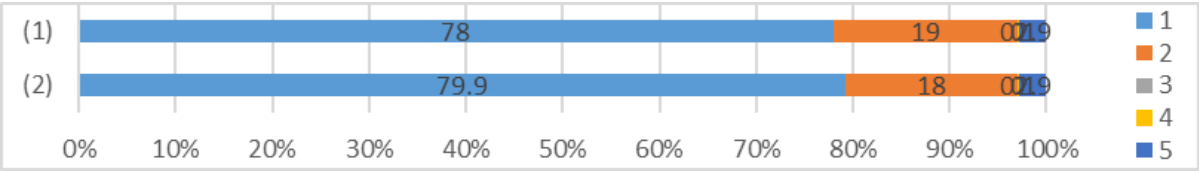
評価項目　①幼児が主体的に、園内外の身近な自然に触れて遊ぶ機会を意図的・計画的に行う。

②自然観察会や栽培活動等の直接体験を通して、SDG s の視点を幼児なりにもち、自然に対する興味や関心を高める。

評価指標　(1)園内外の身近な自然に主体的に関わり、自然への気付きや事象に関心をもち、遊びや生活を楽しんでいる。

(2)直接体験を通して、四季を感じたり、自然の不思議さや面白さ、命の尊さを感じたり等している。

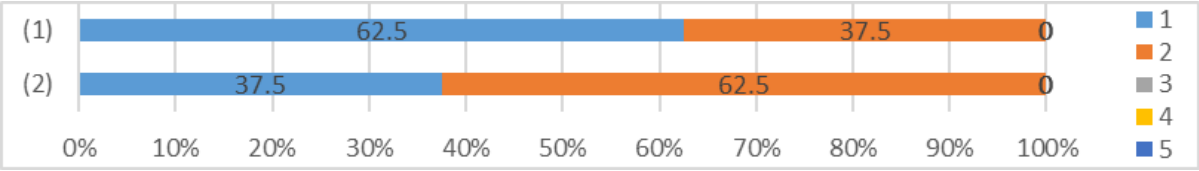
評価結果（保護者）



(1)　１：７８．０％　２：１９．０％　３：０％　４：０．１％　５：２．９％

(2)　１：７９．９％　２：１８．０％　３：０％　４：０．１％　５：２．９％

評価結果（教員）



(1)　A：６２．５％　B：３７．５％　C：０％　D：０％　※：０％

(2)　A：６２．５％　B：３７．６％　C：０％　D：０％　※：０％

保護者の評価結果は、評価項目（１）（２）どちらも「十分達成している」「達成している」を合わせると、９７％以上の評価であった。教員の評価結果では、どちらも「十分達成している」「達成している」を合わせると、１００％の評価であり、重点目標１に関しては、十分達成できたと捉える。

園内研究の取組を発信するとともに、外部講師による「自然観察会」を保護者に公開したことで、重点目標の理解を図ることができたと考える。また、子どもたちが家庭でも園での自然体験について話をし、楽しんでいることが伝わっていると思われる。

重点目標２　**○心身共に健やかな幼児を育む**

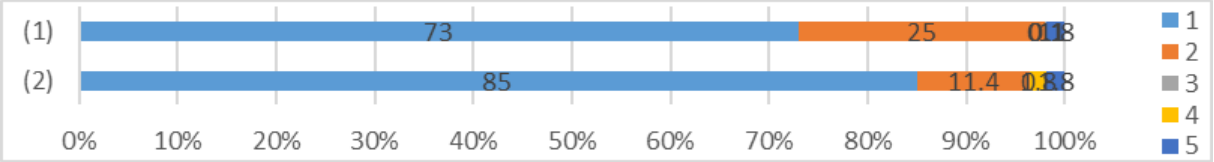
評価項目　①園生活を通して、運動的な遊びの環境を構成したり、徒歩での園外保育を計画的に行ったりすることで、幼児自ら体を動かすことの楽しさを感じられるようにする。

②食育活動を通して、幼児なりに食への興味や健康な体づくりに関心がもてるようにする。

評価指標　(1)幼児自ら様々な運動的な遊び関わり遊ぶことを楽しんだり、徒歩での園外保育を楽しんだりしている。

(2)季節に応じた野菜を育てて食べる一連の活動や教師や友達と一緒に食べる経験を通して、食と健康の大切さを感じたりしている。

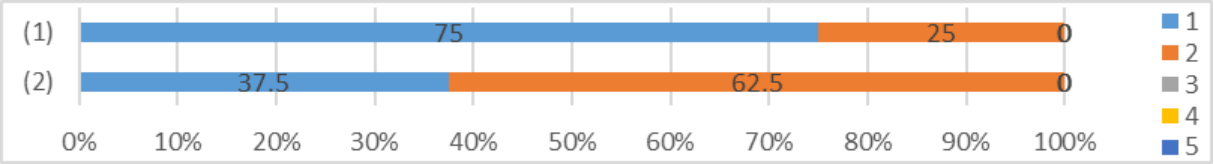
評価結果（保護者）



(1)　１：７３．０％　２：２５．０％　３：０．１％　４：０．１％　５：１．８％

(2)　１：８５．０％　２：１１．４％　３：　０％　４：１．８％　５：１．８％

評価結果（教員）



(1)　Ａ：７５．０％　Ｂ：２５．０％　Ｃ：０％　Ｄ：０％　※：０％

(2)　Ａ：６２．５％　Ｂ：３７．５％　Ｃ：０％　Ｄ：０％　※：０％

保護者の評価結果は、評価項目（１）（２）どちらも「十分達成している」「達成している」を合わせると、９６％以上の評価であった。教員の評価結果では、どちらも「十分達成している」「達成している」を合わせると、１００％の評価であった。

体を動かして遊ぶ機会を、一日に１時間は確保できるよう、様々な運動遊びの提示や、環境作りをしていったことで、評価が高かったと考える。

また、様々な野菜等の栽培や、「とよみワールド」の果実の収穫を親子で楽しむ経験ができたことや、PTA を中心としての保護者ボランティアの積極的な協力が、保護者の評価につながったと考える。

重点目標３　**○園生活に主体的に関わり、夢中になって遊ぶ幼児を育む**

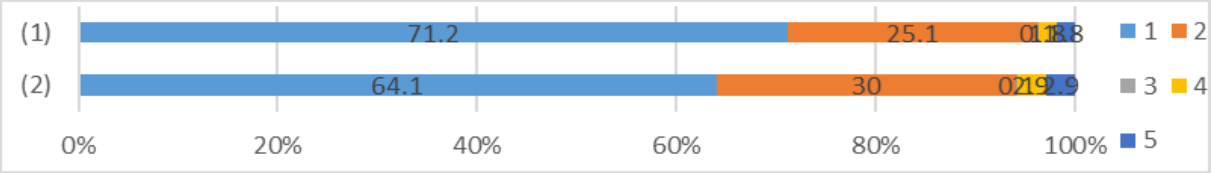
評価項目　①幼児が夢中になって遊ぶ姿を引き出すような環境構成や指導の工夫を図る。

②相手の思いに気付いたり、自分の思いを伝えたりしながら、遊びを楽しみ、自分の力を発揮する楽しさを感じられるようにする。

評価指標　(1)自分から環境に関わり、やりたい遊びを見付け夢中になって遊んでいる。

(2)幼稚園公開・「お父さんお母さんデー」・「放課後わくわくタイム」等の機会を活用して、園と保護者が連携することで幼児の豊かな生活体験をつくることができたか。

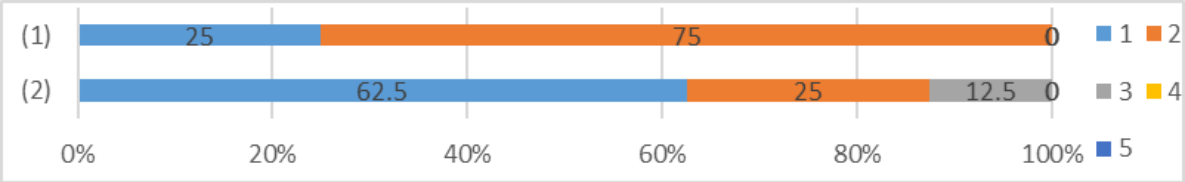
評価結果（保護者）



(1)　１：７１．２％　２：２５．１％　３：０．１％　４：１．８％　５：１．８％

(2)　１：６４．１％　２：３０．０％　３：０．１％　４：２．９％　５：２．９％

評価結果（教員）



(1)　A：７５．０％　B：２５．０％　C：０％　D：０％　※：０％

(2)　A：６２．５％　B：２５．５％　C：１２．５％　D：０％　※：０％

保護者の評価結果は、評価項目（１）（２）どちらも「十分達成している」「達成している」を合わせると、９４％以上の評価であった。教員の評価結果では、評価項目（２）で、課題を捉えている評価があった。重点目標３については、おおむね達成できていると考えるが、重点目標３－２に関しては、今年度よりクローバールーム（預かり保育）が実施されたこと、外国籍の保護者や共働き保護者が増えてきたことから、従来のように登降園時に、保護者と直接話がしづらくなったこと等、コミュニケーションの難しさを実感している。今後は、学級懇談会の工夫などの必要性も感じている。

重点目標３－１については、子どもたちが様々な経験を経て成長している姿については、保護者の評価が得られたと考える。

次年度も、子どもたちのために、保育環境の充実と指導の工夫を図っていきたい。

２　重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

設問１「幼児は幼稚園に行くことを楽しみにしている」設問１２「幼稚園は家庭への連絡や情報の提供に努め、すすんで子育て支援を行い、家庭とともに幼児を育てる体制づくりをしている」以外の設問においては、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせると９６％以上の数値評価であった。

設問１では、「あまりあてはまらない」が５．８ポイントとなり、昨年度より３．８ポイントあがっている。また、設問１２では、「あなりあてはまらない」「わからない」を合わせると４．８ポイントであった。昨年よりも担任と保護者とのコミュニケーションの機会が物理的に減っていることもあり、今後、さらに家庭との連携の強化が必要であると考える。

３　課題と方策

・今年度も保護者の PTA の積極的な協力を得て、飼育栽培、食育の充実をすることができた。また、保護者や外部の地域力を生かした「放課後わくわくタイム」を年間５回開催することができ、保護者、地域の方々が保育への参画ができた。今後も、この協力体制を生かしながら充実した幼稚園教育を図る。

・ルクミーを利用して保育で幼児が経験したことを、タイムリーに保護者へ発信することができた。また、園の予定や行事についてのお知らせ等を発信し、ペーパーレス化を図ることが出来たが、配信を見ていない保護者や外国籍の保護者に伝わっていないことも多く、配信と共に口頭でも知らせていくことを行っていく。